

43回県連学術運動交流集会開く

実地に役立つ交流が前進

8月29日(日)、第43回

岡山県民医学術運動交流集会が開催されました。コロナ禍を考慮して、初めてWEB(ZOOM)での開催となりました。

水島協同病院からは4演題が発表されました。私は2021年3月13日に行った『地域連携・褥瘡学習会の取り組み』について発表しました。

『地域連携・褥瘡学習会』では、褥瘡の治療とケアについて行いました。当院での治療の実際や症例提示も行いました。山本明広院長(当時副院長)や地域連携室の安藤師長も講師として参加して水島地域での当院の役割や、地域連携状況について講義してもらいました。

地域の近隣8施設から参加がありました。参加者の感想として、「大変分かりやすかった」「動画配信よりもLiveで双方向の方が質問もできて良い」「定期的に開催して欲しい」等、好評でした。また講義を録画してスタッフへの褥瘡教育ツ

ールとして使用している施設も2施設ありました。

集合研修にはないメリットとしては、コストが少ない(時間、場所、駐車場確保、スタッフ人員)ことが挙げられます。危険された、通信トラブル(音声・画像)は、ヘッドセットでのマイク機能向上、高性能なWebカメラ使用、有線LANでの回線使用等事前準備で回避できました。こうしたオンラインでの学習会経験、オンラインでの学術交流集会で発表すること、アプリ、タブレットも呼ばれる時

代の変化を感じました。今後地域での褥瘡治療の中心機関として他職種協働で役割を發揮し、地域連携やWebセミナーを通じて、情報発信、ネットワーク構築、そして地域貢献をしていきたいと考えています。(看護部長室 平良亮介)

コロナ禍での地域連携の取り組み
—WEB褥瘡学習会の開催—

総合病院水島協同病院 看護師長
創傷管理特定看護師/皮膚・排泄ケア認定看護師
平良亮介

水島協同病院は差額ベッド料はいただいております

第3回災害訓練実施

震度6の地震想定で訓練

情報伝達など災害対応力の強化めざす

10月30日午後、「倉敷市内で震度6の大地震が発生した」という想定で、院内災害対策本部を立ち上げ、初動訓練を行いました。当院では昨年度、災害時に医療提供機能を維持・継続できるように、BCP(事業継続計画)を作成しており、今回初めてBCPに基づいた対策本部訓練を実施しました。約1時間の訓練では、院内各部署からの情報を本部各部門で集約し、被災レベルの評価とその後

の行動計画を本部中枢で決定して発信、また部門間で情報を伝達する訓練を行いました。災害時はいかに情報を活かせるかが重要なポイントとなります。今回の訓練においても、参加者から継続した訓練の必要性や今後の課題が挙げられました。さまざまな災害にできべきと対応できるように、災害対応力の向上に努めていきたいとあらためて痛感しました。(災害対策推進委員会 井上睦美)



▲訓練においても短時間で情報をコントロールしていく集中力と冷静さが不可欠のチーム戦です



▲訓練に取り組むまなざしは真剣そのもの

虹の意見箱

みなさまから貴重な声をいただいています

病院1階、3階、4階と外来棟の設置

投函場所… 病院3階

手術当日、オペ10分前に部屋にむかえに来てくれた時、全身麻酔を経験された話を教えてくれたことに感謝しています。オペ室迄付き添ってくれて、数分間の間でしたが、おかげでオペ室迄落ちついた気持ちで入室できました。わずかな会話の中で不安が解消できたこと、ありがとうございます。

【お答え】

手術へ入られるまで不安な時間を安心して過ごせ手術に迎えたこと、手術も無事終わり順調に回復し退院されました事、おめでたく思っております。お褒めの言葉、当事者へ伝え病棟スタッフ共々大変喜んでおります。手術は誰もが怖いと思いつながり手術室へ向かって行きます。その不安を少しでも和らげ安心して手術に望めるようこれからも善処していきたいと、スタッフ一同思っています。

3階南東病棟



投函場所… 外来棟3階

行ったときには、えがありがたいお返しをさせていただきます。おうえんしてください!!大好きです。

【お答え】

うれしいことばをたくさん書いてくれて、ありがとうございます。

今後、小児科にいら、声をかけて下さいね。小児科スタッフもがんばります。

外来看護2科

